

一般社団法人 日本生物物理学会
2025（令和6）年度 事業報告
（2025年5月1日～2026年4月30日）

目次

1. 事業概要
2. 各事業詳細資料
 - 2-1. 学術誌・学術図書発行（定款第四条第1号）
 - 2-2. 学術・科学技術に関する研究発表会、講演会、セミナー等の開催（定款第四条第2号）
 - 2-3. 人材育成（定款第四条第3号）
 - 2-4. 優れた研究業績と技術的実践の奨励と表彰（定款第四条第4号）
 - 2-5. 関連学術団体との連携及び協力（定款第四条第5号）
 - 2-6. 国際的な研究協力の推進（定款第四条第6号）
 - 2-7. 普及啓発活動
3. 付属明細
 - （付属明細1）処務詳細資料
 - ・総会・役員会等に関する事項
 - ・契約・入札・他に関する事項
 - （付属明細2）会員の異動状況
 - （付属明細3）事務局の現況（2026年4月30日現在）

1. 事業概要
- 主な活動は
- 1) 学術誌・学術図書（和文誌・欧文誌）の発行
 - 2) 学術・科学技術に関する研究発表会、講演会、セミナー等の開催
 - 3) 研究及び調査の推進・人材育成
 - 4) 優れた研究業績と技術的実践の奨励と表彰
 - 5) 関連学術団体との連携及び協力
 - 6) 国際的な研究協力の推進
 - 7) 普及啓発活動
 - 8) その他
- である。以下にそれぞれを概説する。

1) 学術誌・学術図書（和文誌・欧文誌）の発行

和文誌『生物物理学』第 65 巻 3 号～6 号、Supplement1-1（年会プログラム集）・1-2（年会予稿集：電子版のみ）、第 66 巻 1 号・2 号を刊行した。

欧文誌 Biophysics and Physicobiology Vol.22、Vol.23 を刊行した。

学会員の自由な発想による教科書および専門書籍出版の支援制度にて、一件の支援を行った。

書籍名：生物物理学 1 分子の機能から細胞のシステム生物学まで

申請者：高田彰二

また同制度について、一件の支援を決定した。

書籍名：分子動力学シミュレーション

申請者：奥村久士

2) 学術・科学技術に関する研究発表会、講演会、セミナー等の開催

2-1) 第 63 回日本生物物理学学会年会の開催

2025 年 9 月 24 日～2025 年 9 月 26 日、奈良県コンベンションセンターにおいて、第 63 回日本生物物理学学会年会を開催した。参加者総数：1610 名、演題登録状況：一般演題 815 件（口頭発表 155 件、ポスター発表 660 件）、シンポジウム：45 件であった。

2-2) 会員総会シンポジウムの開催

学会年会において、会員総会シンポジウム「生命とは何か？死とは何か？：生物物理学からの考察」を開催した。

2-3) 学会年会において、キャリア支援説明会、科学研究費助成事業についての説明会を開催した。

3) 研究及び調査の推進・人材育成

3-1) 男女共同参画・若手支援シンポジウムおよびキャリア支援説明会の開催

学会年会において、男女共同参画・若手支援シンポジウム「自分推しキャリアを作ろう！アカデミアと企業で未来を描く」および、キャリア支援説明会を開催した。

3-2) サブグループ支援活動

小中規模のグループ活動やオンラインを含むミーティング開催等を支援することにより学会活動をさらに盛り上げることを目的とし、10 件のサブグループの支援を行った。

4) 優れた研究業績と技術的実践の奨励と表彰

4-1) 学会年会において、若手奨励賞、若手招待講演賞、学生発表賞、IUPAB

award、IUPAB student award、IUPAB 奈良記念賞、IUPAB 奈良記念学生発表賞を

授与した。

5) 関連学術団体との連携及び協力

生物科学学会連合定例会議に継続して出席した。また日本分子生物学会、日本生化学会と新たに連携を開始した。

6) 国際的な研究協力の推進

学会のグローバル化を図るため、年会において海外とのジョイント・シンポジウム4件を開催した。また International Conference on Biophysics and Biomedical Sciences (ICBBS2026) に向け、準備・検討を行った。

7) 普及啓発活動

7-1) Biophysics and Physicobiology の国際情報発信力強化

編集委員会の開催、サイトの整備など、Biophysics and Physicobiology 活性化のための取組を実施した。

7-2) 小中高を対象としたセミナー講師派遣

2016年10月より、小学・中学・高校生を対象とした講師派遣サポート事業を開始した。2025年度は、講師派遣2件が行われた。

7-3) 学会ウェブサイトの利便性向上

英語ページの拡充、「生物物理のテーマ」記事の追加、ビデオアーカイブサイトの再設置、配信メール（ウェブサイト更新について）の形式変更等を行った。

8) その他

8-1) 学会理事会でのウェブ会議の活用

全ての理事会、男女共同参画・若手支援委員会・出版委員会をオンラインで開催した。

2. 各事業詳細資料

2-1. 学術誌・学術図書の発行（定款第四条第1号関連）	
2-1-1. 和文誌「生物物理」	<p>・第65巻3号～6号・第66巻1号・2号を刊行した。（A4版・隔月刊）</p> <p>65巻3号 15記事60ページ 65巻4号 16記事70ページ 65巻5号 18記事65ページ 65巻6号 17記事64ページ 66巻1号 18記事78ページ 66巻2号 16記事67ページ</p> <p>【ダウンロード数（2025年5月～2026年4月）】 全文PDF(クローラー除く) 1,250,061件 被引用数 739件 ウェブサイトからのダウンロード数 6,843件</p> <p>・第65巻はSupplement1-1（年会プログラム集：印刷体 3,710部）、Supplement1-2（年会 予稿集：電子版のみ）も発行した。</p> <p>【冊子体購読数】 機関会員：29、購読（書店経由）：30、購読会員：8（内名誉会員 2） 上記に加え、賛助会員 4、寄贈会員 5にも送付した。</p>
2-1-2. 欧文誌「Biophysics and Physicobiology」	<p>Vol.22 (2025.5-12) Regular Article 19, Review Article 0, Note 0, Editorial 2, Commentary and Perspectives 7, Database and Computer Program 0, Method and Protocol 3</p> <p>Vol.23 (2026.1-4) Regular Article 5, Review Article 2, Note 1, Editorial 0, Commentary and Perspectives 2, Database and Computer Program 0, Method and Protocol 1</p> <p>【ダウンロード数（2025年5月～2026年4月）】 BIOPHYSICS 全文PDF(クローラー除く) 23,457件 被引用数 1,334件</p> <p>Biophysics and Physicobiology 全文PDF(クローラー除く) 121,909件 被引用数 3,030件</p>
2-1-3. 学会員の自由な発想による教科書および専門書籍出版の支援制度	<p>学会員の自由な発想による教科書および専門書籍出版の支援制度にて、一件の支援を行った。</p> <p>書籍名：生物物理学—1 分子の機能から細胞のシステム生物学まで 申請者：高田彰二</p> <p>また同制度について、一件の支援を決定した。</p> <p>書籍名：分子動力学シミュレーション 申請者：奥村久士</p>
2-2. 学術・科学技術に関する研究発表会、講演会、セミナー等の開催（定款第四条第2号関連）	
2-2-1. 年会運営	<p>・以下の年会を開催した。</p> <p>2025年第63回日本生物物理学会年会 年会実行委員長：高田 彰二（京大） 日時：2025年9月24日～25日 場所：奈良県コンベンションセンター</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・以下の年会の開催準備を行った。 1) 2026 年第 64 回日本生物物理学会年会 年会実行委員長：朴 三用（横浜市立大） 日時：2026 年 11 月 23 日～28 日 場所：BEXCO 2) 2027 年第 65 回日本生物物理学会年会 年会実行委員長：安永 卓生（九州工大） 日時：2027 年 9 月 28 日～30 日 場所：北九州メッセ 3) 2028 年第 66 回日本生物物理学会年会 年会実行委員長：宮田 真人（大阪公立大） 日時：未定 場所：未定
2-2-2. 総会シンポジウム	<ul style="list-style-type: none"> ・以下の総会シンポジウムを開催した。 第 6 回会員総会シンポジウム「生命とは何か？死とは何か？：生物物理学からの考察」 日時：2025 年 9 月 25 日 会員総会中 場所：奈良県コンベンションセンター K 会場
2-2-3. 各種講演会	<ul style="list-style-type: none"> ・他団体のイベント後援依頼を 20 件受理した。 ・一般社団法人ラボラトリーオートメーション協会との主催公開シンポジウム「生成 AI・AGI 時代の学術出版～著者が AI、編集部も AI、の世界を議論する～」を開催した。
2-3. 研究及び調査の推進・人材育成（定款第四条第 3 号関連）	
2-3-1. 男女共同参画・若手支援活動	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画・若手支援シンポジウム 以下のシンポジウムを実施した。 「自分推しキャリアを作ろう！ アカデミアと企業で未来を描く」 日時：2024 年 6 月 25 日 11:40～13:10（第 63 回年会会期中） 場所：奈良県コンベンションセンター F 会場 オーガナイザー：日本生物物理学会男女共同参画・若手支援委員会 形式：パネルディスカッション ・第 63 回年会において、キャリア支援説明会として、(株)アカリクから講師を迎え、セミナー等を実施した。 ・若手の会 2025 夏の学校への資金援助（50 万円）を行った。
2-3-2. 男女共同参画学協会連絡会への参画	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画学協会連絡会 運営委員会第 23 期第 3 回、第 24 期第 1 回、第 2 回へ出席した（2025 年 8 月 29 日、2025 年 12 月 8 日、2026 年 3 月 11 日）。 ・第 23 回男女学協会連絡会シンポジウムに参加、ポスター発表を行った。
2-4. 研究業績と技術的実践の奨励と表彰（定款第四条第 4 号関連）	
2-4-1. 若手奨励賞、若手招待講演賞、学生発表賞の選考、授与	<ul style="list-style-type: none"> ・第 20 回若手奨励賞の選考を行い、第 63 回年会で授賞した。（受賞者 5 名） ・第 20 回若手招待講演賞の選考を行い授賞した。（受賞者 5 名） ・IUPAB award、IUPAB student award、IUPAB 奈良記念賞を選考し、表彰した。（受賞者 2 名） ・第 9 回学生発表賞の選考を行い授賞した。（受賞者 36 名） ・IUPAB 奈良記念学生発表賞を選考し、表彰した。（受賞者 12 名）
2-4-2. Biophysics and Physico-biology 論文賞	<ul style="list-style-type: none"> ・第 14 回 Biophysics and Physicobiology 論文賞 5 報の推薦論文について審査した結果、以下の 1 論文を第 14 回 Biophysics and Physicobiology 論文賞とし、第 63 回年会で授賞した。

	<p>Takeharu Sekiguchi, Shingo Sotoma and Yoshie Harada Fluorescent nanodiamonds as a robust temperature sensor inside a single cell. BPPB vol. 15, pp. 229-234 (2018)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第15回 Biophysics and Physicobiology 論文賞 5報の推薦論文について、審査を開始した。
2-4-3. Biophysics and Physico-biology Editors' Choice Award	<ul style="list-style-type: none"> ・以下の7報の論文を第12回 Editors' Choice Award 受賞論文とし、第63回年会で授賞した。 <p>Pioneering artificial cell-like structures with DNA nanotechnologybased liquid-liquid phase separation Yusuke Sato, Masahiro Takinoue</p> <p>Charge block-driven liquid-liquid phase separation: A mechanism of how phosphorylation regulates phase behavior of disordered proteins Hisashi Shimamura, Hiroya Yamazaki, Shige H. Yoshimura</p> <p>Chemical tongues as multipurpose bioanalytical tools for the characterization of complex biological samples Shunsuke Tomita, Hiroka Sugai</p> <p>Four-color single-molecule imaging system for tracking GPCR dynamics with fluorescent HiBiT peptide Toshiki Yoda, Yasushi Sako, Asuka Inoue, Masataka Yanagawa</p> <p>Inducing aggresome and stable tau aggregation in Neuro2a cells with an optogenetic tool Shigeo Sakuragi, Tomoya Uchida, Naoki Kato, Boxiao Zhao, Toshiki Takahashi, Akito Hattori, Yoshihiro Sakata, Yoshiyuki Soeda, Akihiko Takashima, Hideaki Yoshimura, Gen Matsumoto, Hiroko Bannai</p> <p>Rapid in vitro method to assemble and transfer DNA fragments into the JCVI-syn3B minimal synthetic bacterial genome through Cre/loxP system Atsuko Uenoyama, Hana Kiyama, Mone Mimura, Makoto Miyata</p> <p>Strength in numbers: Unleashing the potential of trans-scale scope AMATERAS for massive cell quantification Taro Ichimura, Taishi Kakizuka, Yuki Sato, Yoichiro Fujioka, Yusuke Ohba, Kazuki Horikawa, Takeharu Nagai</p>
2-5. 関連学術団体との連携及び協力（定款第四条第5号関連）	
2-5-1. 生物科学学会連合への参画	<ul style="list-style-type: none"> ・第32回定例会議（2025年12月23日）、第33回定例会議（2026年3月29日）に出席した。
2-5-2. 他学会との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・日本物理学会、日本顕微鏡学会会員の参加発表奨励による連携強化を行った。 ・日本分子生物学会、日本生化学会と新たに連携を開始した。
2-6. 国際的な研究協力の推進（定款第四条第6号関連）	
2-6-2. ABA（アジア生物物理学連合）関連	<ul style="list-style-type: none"> ・ABA シンポジウム 2026 参加者へ若手支援として、助成を行った。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・第63回日本生物物理学学会年会（2025）において、海外とのジョイント・シンポジウムを4件（韓国・台湾・オーストラリア・ノルウェー）開催した。 ・ベトナム生物物理学学会発足式への参加

2-7. 普及啓発活動	
2-7-1. Biophysics and Physico-biology の国際情報発信力強化	<ul style="list-style-type: none"> ・インド生物物理学会(Indian Biophysics Society)の希望する会員に、発刊された論文リストをメールにて隔月に送付した。 ・You Tube にてプロモーションビデオの配信を開始した。 ・科学研究費助成事業により、「Biophysics and Physicobiology for AI 誌の創刊を目指して」事業を開始した。
2-7-2. 小中高を対象としたセミナー講師派遣	<p>2026年4月30日現在の講師登録者数は39名。 2件の派遣授業を行った。</p>
2-7-4. 物理チャレンジ・国際物理オリンピックへの協力	<p>学会ウェブサイトニュース欄に実施要項を掲載した。</p>
2-7-5. その他国内・国外の啓発イベントへの参加	<p>女子中高生夏の学校(2025年8月)にて、参加者に学会クリアファイル、学会パンフレットを配布した。男女共同参画・若手支援委員の理事1名含む3名がイベントに参加し、参加者への説明を行った。</p>

3. 付属明細

(付属明細1) 処務詳細資料

総会・役員会等に関する事項

3-1-1. 総会（開催日）	2025年6月21日（定時社員総会）
3-1-2. 会計監査会（開催日）	2025年5月21日
3-1-3. 理事会（開催日）	<p>2025年6月21日、2025年9月24日、2025年12月6日、2026年1月24日、2026年4月18日</p> <p>・上記のうち、2025年12月6日、2026年1月24日、2026年4月18日に開催された理事会についてはTV会議システムを活用した。</p> <p>メール審議</p> <p>2025年7月14日 選挙管理委員長の選任について</p> <p>2025年8月7日 ICBBS2026開催に伴う先行支出（250万円）について</p> <p>2025年8月17日 IUPAB 抛出による新規賞設置（今年度限り）について</p> <p>2025年8月17日 教科書・専門書籍出版の支援制度への申請について</p> <p>2025年9月18日 IUPAP Medal for Physics of Life 候補者推薦審議のお願い</p> <p>2025年10月15日 Michele Auger Award</p> <p>2025年10月29日 生物物理誌_ICBBS2026 シンポジウム企画の募集ページについて</p> <p>2025年12月24日 BPPB 編集委員_副編集委員長について</p> <p>2026年3月6日 2027 IUPAB Congress 招待講演候補者推薦</p> <p>2026年3月6日 IUPAB Congress 招待講演者候補について</p>
3-1-4. 委員会（開催日）	<ul style="list-style-type: none"> ・出版委員会 2025年6月21日、2025年9月24日、2025年12月6日、2026年1月24日、2026年4月18日 ・男女共同参画若手支援委員会 2025年6月21日、2025年9月24日、2025年12月6日、2026年1月24日、2026年4月18日 <p>（出版委員会、男女共同参画若手支援委員会ともに、2025年12月6日、2026年1月24日、2026年4月18日開催の委員会はTV会議システムを利用し、それぞれの委員でない理事はオブザーバとして委員会に参加した。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会誌編集委員会 2025年7月12日、2025年9月6日、2025年12月20日 ・Biophysics and Physicobiology 編集委員会 2025年9月24日、2025年11月29日 ・ウェブサイト編集委員会 2025年6月12日、2025年11月18日、2026年1月13日、2026年4月1日 ・賞選考委員会（メール審議含む） 2025年7月2日 文部科学大臣表彰 2025年7月2日 島津奨励賞 2025年9月2日 内藤記念科学振興賞 2025年9月22日 東レ科学技術賞 2025年10月15日 花王科学奨励賞 2025年11月26日 藤原賞 2026年2月3日 山田科学振興財団 2026年度研究援助

	上記の各賞に候補者を推薦した。
--	-----------------

契約・入札・他に関する事項

- ・主な新規契約に関する事項（なし）
- ・入札に関する事項（なし）
- ・その他の事項（なし）

（付属明細2）会員の異動状況

会員種別		会員数		増減
		2025年4月30日現在	2026年4月30日現在	
正 会 員	一般会員	1,746	1740	▲ 6
	学生会員	1,177	972	▲ 205
	シニア会員	65	55	▲ 10
名誉会員		17	19	2
終身会員		15	25	10
功労会員		1	14	13
機関会員		29	29	-
賛助会員		5	5	-
総計		3,055	2859	▲ 196

準会員 2025年4月30日現在 25

2026年4月30日現在 59

今期の新規入会者数

一般会員 75名

学生会員 410名

（付属明細3）事務局の現況（2026年4月30日現在）

雇用者なし